

平成 25 年度  
(H25. 4. 1～26. 3. 31)

## 学校法人川口学園 事業報告書

### 1. 法人の概要

#### (1) 設置する学校・学科

学校法人川口学園（東京都豊島区）は、埼玉女子短期大学（埼玉県日高市）、早稲田速記医療福祉専門学校（東京都豊島区）の2つの教育機関と社会教育法の定める通信教育機関を設置している短期大学法人です。

埼玉女子短期大学は、平成元年に埼玉県狭山市にて開学し、平成 11 年に同県日高市に移転、現在では商学科、国際コミュニケーション学科の2学科を設置しています。

早稲田速記医療福祉専門学校は、昭和 10 年「早稲田式速記普及会 実地教授部」として設立され、昭和 26 年「早稲田速記学校」（各種学校）以降、学科増設や2度の校名変更を経て、現在、医療・福祉系を中心とする7学科を設置しています。

各学校の平成 25 年 5 月 1 日現在の入学定員、総定員、総在籍数、定員充足率は以下のとおりです。

#### 【埼玉女子短期大学】（〒350-1227 埼玉県日高市女影1616）

学科名	入学定員	総定員	平成 25 年度	平成 26 年度 (参考)
			総在籍数/ 定員充足率	総在籍数/ 定員充足率
商学科	150 名	300 名	286 / 95.3%	298 / 99.3%
国際コミュニケーション学科	150 名	300 名	323 / 107.7%	297 / 99.0%
合 計	300 名	600 名	609 / 101.5%	595 / 99.2%

#### 【早稲田速記医療福祉専門学校】（〒171-8543 東京都豊島区高田3-11-17）

学科名	平成 25 年度 入学定員	平成 25 年度 総定員	平成 25 年度 総在籍数 / 定員充足率
	速記コンピュータ科	20 名	40 名
医療秘書科	120 名	240 名	
医療マネジメント科(2年制)	40 名	80 名	
診療情報管理専攻科	30 名	30 名	
医療マネジメント科(4年制)	10 名	40 名	
くすり・調剤事務科	40 名	80 名	
介護福祉科	60 名	120 名	
鍼灸医療科	30 名	90 名	
合 計	350 名	720 名	

#### (2) 役員・評議員・教職員の概要

平成 26 年 5 月 1 日現在の本学園役員及び評議員並びに教職員の概要は次のとおりです。

##### 【役員】

理 事 理 事 長 川 口 晃 玉

専務理事	川口 拓也（法人本部担当）
常任理事	楯沢 栄一（埼玉女子短期大学学長）
常任理事	*橋本 正樹（早稲田速記医療福祉専門学校校長）
常任理事	金丸 雅樹（埼玉女子短期大学事務局長）
常任理事	金子 和人（法人本部事務局長）
理 事	矢澤 西二
監 事	監 事 石川 力（公認会計士）
	監 事 村上 義紀

\*平成 26 年 4 月 1 日より

### 【評議員】

評議員 評議員 坂間 和男 他 16 名

### 【教員の概要（専任）】

短期大学教員	19 名
専門学校教員	25 名
職 員	42 名

## 2. 事業の概要

平成 25 年度、各学校が行った取り組み等は次のとおりです。

### 【埼玉女子短期大学】

平成 25 年度の新入生は商学科 147 名、国際コミュニケーション学科 155 名の合計 302 名（前年 313 名）となりました。平成 26 年度については、地元埼玉県をはじめ東日本を中心に、広範な地域から 297 名の新入生を迎えました。

就職環境はやや回復傾向にありますが、継続する厳選採用などにより、就職活動は容易ではなく、学生に対するきめ細かな就職サポートによって、就職希望率約 9 割のなか就職内定率 96.0%（前年 95.1%）の実績をあげることができました。

また、“企業に近いキャリア短大”として、本学の特色となっている社会性を育むマナー&ホスピタリティを基礎とする教育が充実し、インターンシップや企業研修への参加者数も、国内外多くの企業にご協力いただき延べ 212 名となり、希望者全員が参加することができました。

さらに、ICTを活用した教育の質向上、学生の能動的な学修を促進するアクティブラーニング環境の整備など、新たな学びの体制に向かって準備が進められました。併せて学生の意欲と自信に繋げる、経験値を上げるための活動も継続的であり、学内行事やサークル活動、ボランティアへの参加促進のほか、企業連携などによる学外授業や研修も積極的に実施され、留学・海外研修には、アメリカ、カナダに加え、韓国、台湾などへ、延べ 38 名の学生が参加しており、学びとキャンパスライフの活性化が図られています。

### 【早稲田速記医療福祉専門学校】

平成 25 年度の新入生は、全学科合計で 377 名（前年 343 名）となりました。また、平成 26 年 3 月卒業生の就職に関しては、医療機関において、求める職種や人材に変化が感じられる採用環境の中で、医療・福祉業界と太いパイプで結ばれた「就職に強い SOKKI」の力を発揮し、98.4%（前年 97.9%）の決定率を確保しました。さらに、本校の特色の一つである正規就業比率は 97.5%（前年 97.1%）の実績を上げ、卒業生は、病院・調剤薬局・クリニック等の受付や事務スタッフ、福祉施設の介護スタッフとして活躍しています。

教育面の取り組みとしては、学生指導に関する教職員間の情報共有や関連部署の連携など、複数の視点で学生を見守る環境が整いつつあり、退学者の減少に成果が見られます。また、医療秘書科・医療マネジメント科が職業実践専門課程に認定され、それに関連する「教育課程編成委員会」等の活動を通じて、医療・病院分野の最新の人材ニーズをカリキュラムに反映することも行われています。

SOKKI では、在学中の学びで「考える力(Think)」・「積極性(Positive)」・「対話力(Communication)」を磨き、卒業後の 40 年間、社会人として活躍していける力を身につけることを目標にした、「2-40 プロジェクト」にも取り組み、その活動の一環として卒業生の学びのニーズに応える「卒業生支援講座」も企画・実施しました。

### 3. 財務の概要

平成 26 年 3 月末日現在の財務状況と当期の予算執行状況について、その概況を報告いたします。

#### (1) 財産目録

### 財 産 目 録

平成 26 年 3 月 31 日現在

I. 資産総額	金 8,269,088 千円
内 基本財産	金 6,022,141 千円
運用財産	金 2,246,947 千円
II. 負債総額	金 1,702,295 千円
III. 正味財産	金 6,566,793 千円

区 分	金 額
<資産額>	
1. 基本財産	
土地	64,352.28 m <sup>2</sup> 3,603,626 千円
建物	16,049.95 m <sup>2</sup> 2,142,681 千円
構築物	28 点 12,032 千円
図書	65,085 冊 198,961 千円
教具・校具・備品	3,388 点 50,107 千円
その他	871 点 14,734 千円
2. 運用財産	
現金預金	1,235,754 千円
その他	1,011,193 千円
資 産 総 額	8,269,088 千円

＜負債額＞		
1. 固定負債		
長期借入金		121,624 千円
その他		423,090 千円
2. 流動負債		
短期借入金		123,372 千円
その他		1,034,209 千円
負債総額		1,702,295 千円
＜正味財産＞（資産総額－負債総額）		6,566,793 千円

## (2) 貸借対照表

決算時(年度末)における資産・負債・資本金及び収支差額を把握するもので、法人の財政状態を表しています。

平成25年度末の資産は、現金預金が2千9百万円増加しましたが、減価償却や雪害による構築物の倒壊等により固定資産が1億4千万円減少し、総資産は82億6千9百万円となり前年度末に比べ8千万円減少しています。

負債の部については、返済により借入金が1億2千3百万円減少し、また未払金の支払いにより流動負債が減少したため、前年度末より負債の部合計が1億5千6百万円減少しました。

総資産から負債の部合計を差し引いた正味財産は65億7千万円となり、前年度末に比べ7千6百万円増加しました。

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	6,926,674	7,067,154	△140,480
有形固定資産	6,616,257	6,754,296	△138,039
土地	4,148,026	4,148,026	0
建物	2,189,311	2,335,492	△146,181
その他の有形固定資産	278,920	270,778	8,142
その他の固定資産	310,417	312,858	△2,441
流動資産	1,342,415	1,282,037	60,377
現金預金	1,235,754	1,206,664	29,090
その他の流動資産	106,661	75,373	31,287
資産の部合計	8,269,088	8,349,192	△80,103

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	544,714	663,845	△119,130
長期借入金	121,624	244,996	△123,372
その他の固定負債	423,090	418,849	4,241
流動負債	1,157,581	1,194,943	△37,362
短期借入金	123,372	123,372	0
その他の流動負債	1,034,209	1,071,571	△37,361

負債の部合計	1,702,295	1,858,788	△156,493
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	8,924,545	8,910,260	14,286
第3号基本金	55,000	55,000	0
第4号基本金	231,000	231,000	0
基本金の部合計	9,210,545	9,196,260	14,286
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	2,643,752	2,705,856	62,104
消費収支差額の部合計	△2,643,752	△2,705,856	62,104
負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計	8,269,088	8,349,192	△80,103

### (3) 資金収支計算書

資金収支計算書とは、当該会計年度の諸活動に対する全ての収入・支出内容を明らかにし、かつ支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入・支出の顛末を明らかにするものです。つまり資金収支計算書は、資金の年初と年度末残高を明らかにします。

平成25年度の資金収入は、学生数の増加により、前年度に比べ学生生徒等納付金収入が6千5百万円増加し、補助金収入が2千万円増加しました。前年度は5千万円の短期借入金収入がありましたが、25年度は借入を行いませんでしたので借入金等収入は発生していません。予算額との対比では、雑収入と前受金収入が予算超過となっています。雑収入については、退職金財団交付金収入が877万円の予算超過、前受金収入は学納金の前受金が737万円の予算超過となっています。

資金支出は、前年度と比較すると人件費支出が1千8百万円減少、教育研究経費支出が1千万円減少、管理経費支出が1千5百万円減少しました。借入金等返済支出は借入金が無かったため前年度より5千3百万円減少しています。予算額との比較では、教育研究経費・管理経費支出合わせて1千2百万円の未達でした。

そして次年度に繰り越す支払資金は12億3千6百万円となり、前年度より3千2百万円増加し、また予算額を4千9百万円超過しました。

## 資金収支計算書

平成25年4月 1日

平成26年3月31日

(単位千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,473,580	1,473,580	0
手数料収入	11,159	12,020	△861
寄付金収入	0	200	△200
補助金収入	108,188	108,579	△391
国庫補助金収入	104,000	104,678	△678
地方公共団体補助金収入	4,188	3,901	287
資産運用収入	43,253	44,005	△752
資産売却収入	0	63	△63
事業収入	64,793	64,793	0

雑収入	39,798	49,532	△9,734
前受金収入	880,565	887,937	△7,372
その他の収入	66,146	67,438	△1,292
資金収入調整勘定	△982,116	△979,707	△2,409
前年度繰越支払資金	1,206,664	1,206,664	0
収入の部合計	2,912,030	2,935,104	△23,074
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	674,791	673,876	915
教育研究経費支出	552,009	545,219	6,790
管理経費支出	263,796	258,877	4,919
借入金等利息支出	7,633	7,655	△22
借入金等返済支出	123,372	123,372	0
施設関係支出	810	809	1
設備関係支出	37,300	38,948	△1,648
その他の支出	156,277	152,658	3,619
予備費	10,000		10,000
資金支出調整勘定	△100,500	△102,064	1,564
次年度繰越支払資金	1,186,542	1,235,754	△49,212
支出の部合計	2,912,030	2,935,104	△23,074

#### (4) 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度における消費収支の均衡状況とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であることを示すもので、いわば企業会計の損益計算書にあたるものです。

平成25年度の帰属収入は合計17億5千8百万円で、前年度に比べ1億6百万円増加しました。これも資金収支計算書と同様に、学生数増加による学生生徒等納付金の増加と、国庫補助金の増加によるものです。1千4百万円の基本金を組み入れましたので、消費収入は17億4千4百万円となり、予算額より1千2百万円の超過となりました。

消費支出の合計は16億8千2百万円となり、前年度に比べ3千7百万円減少し、予算額と比較すると1千万円の未達でした。予算額との差額は、主に教育研究経費と管理経費の未達によるものです。資産処分差額については前年度より693万円増加していますが、貯蔵品と差入保証金の処分差額が発生したためです。

結果的に消費収支は6千2百万円の収入超過となり、前年度に比べると1億4千3百万円の改善、予算との比較では2千2百万円超過となりました。

### 消費収支計算書

平成25年4月 1日

平成26年3月31日

(単位千円)

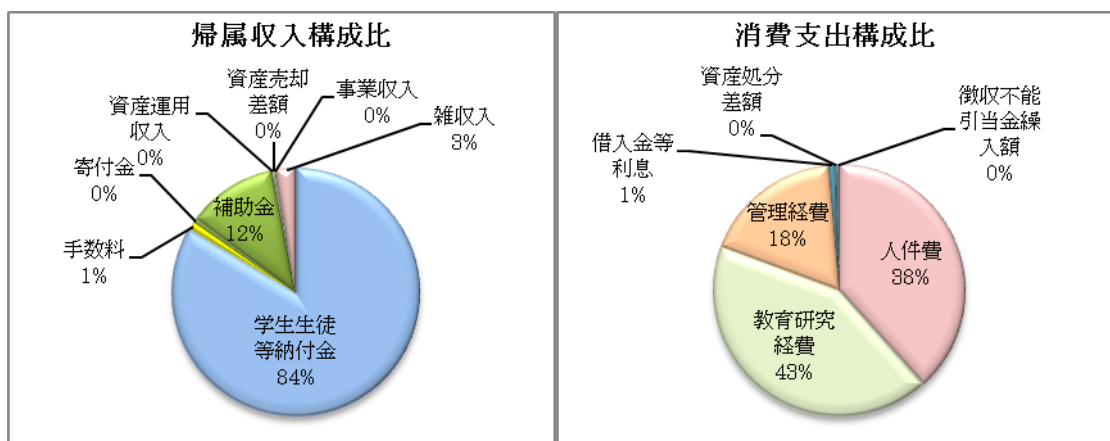
消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,473,580	1,473,580	0
手数料	11,159	12,020	△861
寄付金	4,932	5,407	△475
補助金	108,188	108,579	△391
国庫補助金	104,000	104,678	△678

地方公共団体補助金	4,188	3,901	287
資産運用収入	43,253	44,005	△752
資産売却差額	0	41	△41
事業収入	64,793	64,793	0
雑収入	39,798	49,532	△9,734
帰属収入合計	1,745,703	1,757,957	△12,254
基本金組入額合計	△14,286	△14,286	0
消費収入の部合計	1,731,417	1,743,671	△12,254
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	677,458	678,118	△660
教育研究経費	698,297	692,843	5,454
管理経費	301,110	293,651	7,459
借入金等利息	7,633	7,655	△22
資産処分差額	3,600	6,968	△3,368
徴収不能引当金繰入額等	2,332	2,332	0
予備費	1,282		1,282
消費支出の部合計	1,691,712	1,681,567	10,145
当年度消費収入超過	39,705	62,104	
前年度繰越消費支出超過額	2,723,966	2,705,856	
翌年度繰越消費支出超過額	2,684,261	2,643,752	

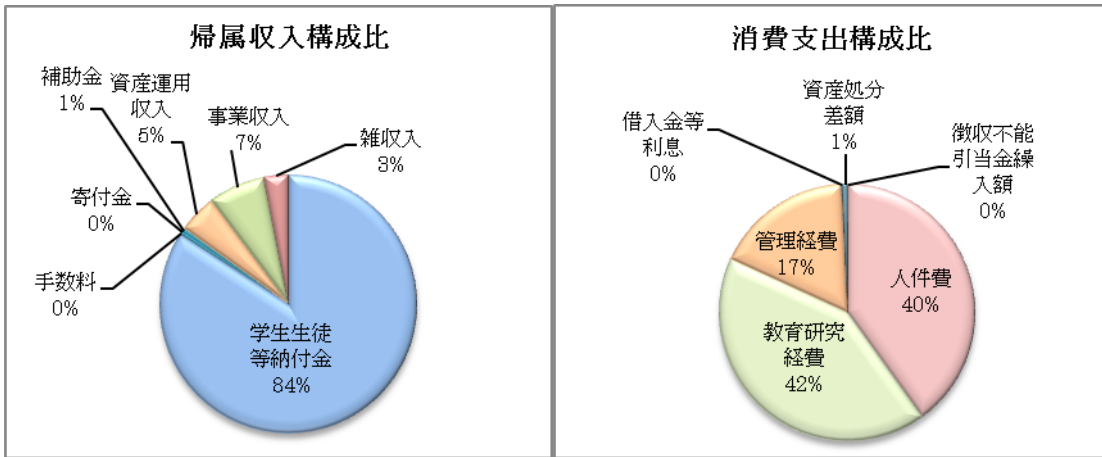
■消費収支差額3か年推移

	23年度	24年度	25年度
消費収入の部合計	1,657,038	1,637,631	1,743,671
消費支出の部合計	1,899,555	1,718,418	1,681,567
当年度繰越消費収入超過額	△242,517	△80,787	62,104

■短大帰属収入・消費支出構成比



■専門学校帰属収入・消費支出構成比



以上



# 監査報告書

平成26年5月14日

学校法人 川口学園  
理事会・評議員会 御中

学校法人 川口学園

監事 村上 義紀 (印)

監事 石川 力 (印)

私たちは、学校法人川口学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧しました。また、事業報告書の内容についてもチェックを行うなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上